

shinchi town news

広報 しんち 1

2005 .No.403



もちつきペッタシ

町内4保育所で毎年恒例の餅つき会が行われ、昔ながらの杵と臼を使っての餅つきに、子どもたちは大喜び!

(写真：12月10日、福田保育所にて)



新しい新地 新しい未来へ

新地町長 加藤 憲 郎

町民の皆さま、あけましておめでとございます。皆さんにおかれましては、輝かしい新年の幕開けをご家族お揃いで健やかに迎えのことと心よりお喜び申し上げます。昨年に賜りました町政へのご支援、ご協力に対しまして、改めて厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、国内各地での台風や新潟中越地方の地震では大きな被害が発生しました。幸いにも当町では大きな被害はありませんでしたが、災害に対する心構え、準備を怠ってはいけないと痛感しました。また、プロ野球界ではIT関連企業の新規参入により、仙台市を拠点としたチームが設立されたことでの経済効果や、野口英世の新千円札の発行など東北地方に明るい話題もあります。また日本経済全体としては先行き不透明な状態が続いています。

このような中、国・県・市町村を問わず財政状況はひつ迫しており本町におきましても、現在、平成17年度予算編成作業に取り組んでいるところですが、税収の確実な減少や義務的経費の増加などにより厳しい行財政運営を強いられている

状況であります。

しかしながら、町民の皆さまの負託に応え、将来に悔いを残さないまちづくりを推進していくことが私ども行政を預かる者の責務であり、更なる行財政改革を推し進め、町財政のより一層の健全化に取り組んで参りたいと考えています。

これまでに、町の発展を願い積極的に各種の事務事業に取り組み社会資本の整備をしてきたところですが、少子高齢化などにより社会・経済構造が大きく変化する中、その速度に遅れることなく将来展望を立て、生活基盤の整備・福祉環境の充実をはかりながら、豊かな自然環境の中で過ごせるようなまちづくりを推進します。

また、産業の振興、教育文化の発展に取り組み広い視野で常に将来を見据えながら「元気なまちづくり」に向けてまい進していきたいと考えています。

本年も町民福祉向上を最優先に鋭意努力いたす所存でありますので、皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げます。

あけましておめでとうございます



行財政改革と 新たな財源確保のために

新地町議会議長 鈴木 利

平成17年の年頭にあたり謹んで、皆さまにごあいさつを申し上げます。

昨年を振り返りますと、梅雨のない暑い日が続き農作物は全般的に生育が良く順調に推移しましたが、水稲の収穫時期には例年になく長雨に見舞われて、刈り取り作業は大変な苦勞がありました。全国的には大きな自然災害が次々と発生し、なかでも、新潟県中越地方を中心に発生した地震では甚大な被害となり、現在も復興作業が続いている状況にあります。被災者の皆さまに心よりお見舞いを申し上げますとともに、我が町においても、宮城県沖地震などが予想されますので、常に防災意識を持ち備えることが必要と考えております。

また、台風は通年の3倍の10個も日本に上陸し、各地に大きな被害をもたらしましたが、幸いにも当町には大きな被害もなく経過しました。一方では、アテネオリンピックや大リーグなどのスポーツ選手の活躍により、世界に日本がアピールできた年でもありました。

このような中で、昨年の議会活動におきましては、市町村合併問題が大きな課題となり、3月議

会において、全議員の賛同を得て、「市町村合併問題調査特別委員会」を設置、将来のまちづくりについて議論をする場として、実に21回の委員会を開催しました。12月14日に「市町村合併問題については、慎重に対応すべきであり、委員会としては住民の立場を踏まえるとともに、情報活動に取り組み、町自立の可能性についてもより具体的な検討を深めていく必要がある」と中間報告されました。

また、12月定例議会には「平成17年3月に結論を出すのは慎重に」という内容の請願書が採択されました。

今後のまちづくりは、議会と町が共通の認識の中で「行財政改革の推進」と「新たな財源の確保」に向けて全力で取り組んで参りますので、町民の皆さまのご指導、ご支援を賜りますようお願いを申し上げます。新年のごあいさつといたします。

相馬市との合併

合併特例法期限内(今年3月)は困難と判断

―判断の経過―

住民説明懇談会を開催

町では、任意合併協議会で策定した新市将来構想の概要版と町独自に作成した合併しない場合の財政見通しなどの資料を使って、11月26日から12月12日までの間に、行政区ごと15会場で行った住民説明・懇談会を実施してきました。

説明・懇談会には、町の将来を左右する大切な問題であることから、826人の皆さんが参加され、新市将来構想と財政シミュレーション(予測)などについて活発な意見交換がなされ、数多くの貴重な意見、提言が寄せられました。会場では、将来を考えた場合は合併をすべきであるという意見、また、一方では、

相馬市の財政予測の内容が疑問である。新市将来構想の重点プロジェクトは、本当に実現できるのか。

配付された資料では、自分たちの生活(負担)がどうなるのか判断できず、合併しても住民の負担が増加するのではないか。

など、全体的にみて、各会場とも、平成17年3月までとなっている合併特例債などの財政支援の期限にこだわらず、もっと時間をかけて議論すべきであり、急いで結論を出すことを心配する意見が多く出されました。(意見・質問要旨は6ページに掲載しています)

住民団体からの要望・請願の状況

住民説明・懇談会を実施している間に、住民団体から町に対して、「平成17年3月までの合併は、慎重に対応すべき」という内容の意見書と要望書が提出され、議会には同様の趣旨で3件の請願書が提出されました。

議会の請願審査については、去る12月議会において慎重に審査を行い、3件とも請願趣旨のとおり「採択」という決定がなされました。

町の考え方を

議会で表明

相馬市長に伝えました

町としては、これまでの住民説明・懇談会や議会との議論を踏まえ、「国・県の財政支援を活用した際の重点プロジェクトとして具体的な事業を

盛り込んだ、新市将来構想の前提条件となる今年3月までに、合併の結論を出せる方向には民意がまだ至っていない」と総合的に判断したことを、去る12月議会の最終日(20日)、加藤町長が本会議において表明し、任意合併協議会会長である立谷相馬市長に町の考え方を伝えました。

任意合併協議会の経過

相馬市との合併問題については、昨年8月に任意合併協議会を設置して、これまで7回の会議を開催し、国・県の財政支援を受けて合併した場合の新市将来構想の策定、そして合併した場合と合併しない場合の財政シミュレーションも作成し、合併の是非を含めて協議を進めてきました。これまでの会議の内容は、協議会だよりでお知らせしているとおりです。



▲ 任意合併協議会のようす

町では、国・県の財政支援が受けられる今年3月までの期限内の合併については困難という判断をしたことから、12月25日に開催を予定していた第8回目の協議会は延期しました。

延期後の開催日時は、決定次第、皆さんにお知らせします。

市町村合併問題住民説明・懇談会の主な質問・意見要旨

町長は相馬市との合併についてどう考えているのか、方向性を示してほしい。

合併の是非は、自分たちが選んだ町長と議員なので、リーダーシップを発揮して、町の方針を決定してもらいたい。

相馬市が昨年の9月に非常事態宣言を出したのに今年の6月には撤回されている。理由を聞きたい。

財政シミュレーションには石炭灰処理受託事業や企業誘致の歳入も含まれているようにだが、まだ契約はしていないのになぜ載せたのか。

新市将来構想の重点プロジェクトは、本当に10年間で全部できるのか。

合併した場合は税負担が増えるのではないかと。

もっと早くシミュレーションを作って新地町の方向性を町民に訴えて欲しかった。

新地の町民が互いに節約して自立に進むにおいて、再検討して町長中心に町民が協力していくとなれば、合併が遅れてもやむを得ない。

任意協議会では、相馬市は合併しようとして協議していると思う。しかし、最初に財政問題から協議していて、地域を良くしようとする議論が少ない。若者に興味を持ってもらう提起をしてもらいたい。

町長や市長は町民市民を引っ張っていくことも必要である。町民の声を聞くだけが町長ではないので、合併を前提に特例債を活用するという形で懇談会を行うのが正しい考え方だと思う。今後の財政見通しが厳しく、赤字になるのがわかっているので、そうならないような方策として、町長や相馬市長が合併した方が

よいという方向付けにするのが合併協議会だと思ふ。協議会の中では合併したらどういうまちにしたい、こういうまちにしたいというものを作ってもらいたい。

少子高齢化が一番の問題。町の人口の推移をみても増えない。働く場所がなく人が集まらないという悪循環がある。相馬港など、相馬一体となって進めてきた事業があるので、そういった事業をうまく活用すべき。

働く場所に関しては、相馬の西・東工業団地との連携がこれからの新地町を考えた場合、非常に重要になってくる。

合併すると福田は過疎化するのではないかと。福田小学校の改築と資料にも出ているが、若者・子供が減って行って、小学校建築は必要ない、保育所も必要ない、という結論になるのが心配。



相馬広域情報

編集 〒976-8600-1
相馬市中村字大手先13
相馬地方広域市町村圏組合
(☎0211)

管理者から 新年のあいさつ

管理者 中野一徳
(鹿島町長)

相馬地方の皆さま、明けましておめでとうございます。平成17年の輝かしい新年を迎え心からお喜び申し上げますとともに、日ごろより広域行政進展のため、ご支援とご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

昨年は、自然の猛威に痛感された年となり、過去最多の10回も上陸した台風が全国各地に被害をもたらす、さらに10月には、新潟県中越地震が発生し、その被害は甚大なものとなりました。被災地ではいまだに、数多くの方々が避難生活をしておりませんが、1日も早い復興をお祈り申し上げます。

また、三位一体の改革による地方交付税の削減や市町村税の落ち込み等により、構成市町村の財政も極めて厳しい財政運営を強いられております。

このような社会情勢の中、住民サービスの向上、効率的な行政の運営、地域の活性化を図るため、広域行政の役割は、ますます重要となっており、新たな広域的な展開を図るための施策が必要とされるなど、広域的に取り組むべく課題が山積しております。

地域住民が、豊かで住みよい圏域づくりを進めるため、構成市町村との連携と協働体制のもと、第四次相馬地方広域市町村圏計画を指針とし、本組合の業務である常備消防による救急、防災業務や、今後の地域医療の担い手を養成する相馬看護専門学校拡充さらには、複雑かつ多様化する社会ニーズへの確に対応し

た広域行政を推進していきたくと考えておりますので、皆さまはじめ関係各位の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

相馬地方伝統芸能披露 開催のお知らせ

『相馬地方伝統芸能披露』は、相馬地方に訪れた方々を

歓迎するとともに、各地域に古くから伝わる伝統芸能の披露とPRにより相馬地方観光の活性化を図ることを目的に次により開催します。皆さまのご観覧をお待ちしています。

なお、当日は、終了後、ご来場の先着250名様に限り、カニ汁が無料で振る舞われます。(整理券を午前10時30分前から配付します。)

▼日時 1月16日(日)
午前11時～午後1時

1 月		
1	鹿狼山元旦登山 (新地町鹿狼山)	
4	釣師の浜から「初日の出」を見る会 (新地町釣師浜海水浴場)	
5	初せり式 (相馬総合卸売市場)	
9	火伏せまつり (小高町 貴船神社)	
上旬	鹿島御子神社火伏せまつり (鹿島町 鹿島御子神社)	
14	どんと祭 (新地町内)	
4	かせどり (新地町内)	
4	どんと祭 (相馬市 長友グラウンド)	
16	観光いちご園オープン(～5/31) (相馬市和田地区)	
22	生涯学習フェスティバル(～23日) (新地町農村環境改善センター)	
23	新春村民の集い (飯館村公民館)	
29	新春歴史講演会 (小高町内)	
2 月		
3	駒ヶ嶺保育所豆まぎ行列(鬼行列) (新地町駒ヶ嶺保育所)	
6	小学生さわやかドッジボール大会 (スポーツアリーナそうま)	
12	海の味まつり「カニ汁」(～13日) (相馬市水産物直売センター)	
13	第40回原町市民俗芸能発表会 (原町市民文化会館)	
中旬	鹿島町ロードレース大会 (鹿島町内)	
3 月		
13	市民ウォークラリー大会 (スポーツアリーナそうま)	
27	松川浦開き・潮干狩り解禁 (相馬市現地)	
4 月		
上旬	桜まつり(～中旬) (相馬市 馬陵公園)	
上旬	桜まつり(～中旬) (原町市 夜の森公園)	
上旬	万葉の里短歌大会 (鹿島町生涯学習センター)	
10	旧武山住宅・羽山横穴一般公開 (原町市現地)	
中旬	第7回チューリップ祭り (新地町谷地小屋 新地城趾)	
中旬	浮舟まつり (小高町内)	
16	春まつり(～17日) (鹿島町内)	
29	健康ウォーク (新地町内)	
4	懸の森山開き (小高町現地)	
下旬	相馬野馬追振興春季競馬大会 (原町市 雲雀ヶ原祭場地)	



住民アンケートの実施を求める要望
12月27日には、若い世代を含めた住民アンケートの実施を求める要望書が住民団体から町へ提出されました。

合併の前には、ぜひ住民投票をやってほしい。

住民投票も良いと思うが、一人ひとりがはっきり判断できるようにしてから実施希望。

▼会場 道の駅そうま 体験実習館

▼出演予定団体

- ・立谷町敬神会(相馬市)
- ・下北高平神楽保存会(原町市)
- ・原釜神楽保存会(相馬市)
- ・小高町相馬流れ山踊り保存会(小高町)

●問い合わせ

相馬地方広域市町村圏組合事務局企画課(☎0211)

踊りとお話で明日をひらく 新地町男女共生のつどい

町男女共同参画プラン推進会議主催による「男女共生のつどい」が12月12日、農村環境改善センターで約230人が参加して行われました。

林隆雄さん（上真弓）のどじょうすくい開幕を開けるといいうちよつと変わった企画に会場は盛り上がりしました。続いて、会津金山町観光協会の長谷川律夫会長が「笑いで国際結婚」と題して講演を行い、過疎対策として金山町の独身男性と中国人女性の結婚を23組成



▶ 講演を行った長谷川律夫さん

立させたことや、国際結婚の進め方などをユーモアたっぷりに話しました。

おしまいは、長谷川さんが平成元年から地域おこしのために仲間たちと始めたひよつとこ踊りを披露しました。

また、前日の夜にはつどいの関係者や町民約30名が参加し、長谷川さんを囲んでの夜話会が開かれ、交流を深めました。



▶ 会場を和ませくれた林さん



▶ お蔵入りひよつとこ踊りによる「ひよつとこ踊り」

各流派新地町おどり会 現代舞踊発表会

各流派新地町おどり会（斎藤洸旦会長）主催による「第24回現代舞踊発表会」が12月5日、農村環境改善センターにおいて各流派10団体の会員など約100人が参加して開催されました。

発表会では、民謡や演歌に合わせて華麗な踊りを披露し、詰めかけた町民から大きな拍手を浴びていました。



▶ 華麗な踊りを披露

元気はつらつ教室

高齢者の転倒による寝たきりを予防し、いきいきとした生活が送れるよう健康体操や個別相談を行う「元気はつらつ教室」が12月7日、町保健センターで行われ、65歳以上の町民32人が参加しました。

第1回目となるこの日は、公立相馬総合病院リハビリテーション科の先生による体力チェックや転倒予防についての講義が行われました。

教室は65歳以上の方を対象に、2月22日まで合計6回行われます。



▶ 体力チェックの様子

福島県青少年育成県民会議会長表彰 福田地区推進協議会

地域で優れた活動を展開している青少年団体に贈られる「福島県青少年育成県民会議会長表彰」において、福田地区推進協議会（斎藤賢一会長）が青少年育成の部で表彰されました。

福田地区は、昭和62年に結成以後、学校・地域・各団体と連携し健全育成の推進に努めてきたことが評価されました。



▶ 斎藤賢一（会長）と、佐藤助役（左）



▶ 真剣に取り組む生徒たち

尚英中学校2年生 大学でキャンパス研修

尚英中学校では、総合学習の一環として12月14日から16日まで、2年生の全生徒88人がいわき明星大学で「キャンパス研修」を行いました。

キャンパス研修は、21世紀を生きる生徒に広い視野とたくましい生き方を身に付けてもらうために実施されており、生徒たちは、ソーラーカー体験や心理学、英会話、インターネットをコンピュータなどを使いながら学びました。

The Photo Scramble



▶ 相馬警察署員と町ホームヘルパーからシールを受け取る平岡京子さん（城内）

年末年始の事件・事故に注意 「安心・安全ネットワーク」

相馬警察署では、年末年始の事故防止を目的に「安心・安全ネットワーク」を立ち上げ、高齢で一人暮らしをされている方などを対象に、夜光反射シールなどを配付しました。

ネットワークは、高齢者と接することが多い町のホームヘルパーが主体となり、世帯に訪問したときに反射シールなどを配付、事故防止活動を行います。



▶ 激しいラリーが続いた試合

第11回町民親善卓球大会

町体育協会主催による第11回町民親善卓球大会は12月23日、町総合体育館で行われ町民ら約200人が参加して開催されました。

小学生から一般まで、男女別にシングルス、ダブルス、ラージボールなど17部門に分かれて行われ、上位入賞者には賞状や賞品が贈られました。

図書館へ行こう 新着本の案内

●一般書

『正義の証明(上・下)』 森村 誠一
不良少年グループが大ベストセラーの本を参考に事件を起こす。版元の社長金山は世間から非難を浴びるが、表現の自由を盾に責任を認めようとしていない。その矢先、金山が何者かに麻酔弾を打ち込まれる事件が発生する。



『漱石先生大いに悩む』

清水 義範

神経衰弱に悩んでいた漱石に高浜虚子が文章を書くことを勧めたのが執筆のきっかけとされているが、今回発見された漱石書簡によれば、それ以前からあるつら若き女性と文章について意見を交わしていたことが浮上してきた。こ

の女性は漱石マニエコーにどう関係していたのか。

『村を助くは誰ぞ』 岩井三四二
『アトムソリー、ママ』 桐野夏生

『ビジネスアル版最後の藩主』
『S・MAP それぞれの道』

『Dr. コバのラッキーカラー 色風水2005』
『完全攻略面接試験対策講座』

『知らないでゼツタイ恥をかく 社会人のマナー186』

『本をおして子どもとつきあう』

●児童書

『レインナ じぶもべやの秘密のともだち』 斉藤 栄美

『えっ、わたしがふたり!』 転校第1日目、そして9歳最後の日、なほの目の前に自分とそっくりの女の子があらわれた。それは小さな頃、いつ子ども部屋で待っていてくれた、大好きなあの子だった。



『虹の物語』 村山早紀
『ズッコケ海底大陸の秘密』

『青いチューリップ』 新藤悦子
『週刊子どもニュース04』

●CD

『いなかっぺ大将1』
『タンベル体操』

『EXODUS』 Utada
『LION』 奥田民生

『源氏物語(語り)』 上原まり

1月の読み聞かせ会
1月16日(日)
午前11時~11時30分

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

●は休館日

保育所から 106 こんにちは 福田保育所



『先生、こまわったよ。』
『カルタ、何枚とった?』
『わたし、6枚!』

お正月明けの保育室からは、こんな会話が聞こえてきます。保育所では、カルタやこまたこあげなどの他に、大きい子があそび方を教えながら、鬼ごっこやかめかめ、お寺のおしゅつさんなど色々な伝

いつまでも

心に残る伝承あそび

承あそびを楽しんでいます。

最近、テレビやゲームがあそびの中心となりつつあり、また、核家族が増えたことにより、おじいさん、おばあさんたちから教えてもらえるあそびが少なくなってきました。だからこそ、大人になっても懐かしく心の中に残っているあそびを、今の子どもたちにたくさん教えてあげたいのです。

あそびの中で育つ

○おはじき
小さいおはじきをわらって指をはじくことで、指先の器用さを育てます。
○あやとり・折り紙
ひもの形や紙の角、折り目を注意深く見て作ることで集中力や持続力を養います。

○わらべうた・手あそび
体を向き合わせたり、人の手をぬくもりや温かさを感じたり、親子のスキンシップにもつながります。

○カルタ

集中して見たり、聞いたたり、文字や絵を覚えることもできます。

○ケンケンパ

「ケンケン」で前に進むことでバランス感覚を養います。

家族みんなであそぼう

伝承あそびは、大勢であそぶと楽しいものや手と手のぬくもりを感じるあそびなどがたくさんあります。

みんなで輪になって、頭を並べたり、ひざを合わせながらのあそびは、ほほえましい光景です。これからの季節、ご家族で昔のあそびを楽しみましょう。はいかがでしゅうか。

子どものごびやき

昔ながらの臼と杵を使ったもちつき会の時
保育士「何でつくかわかる?」
Aくん「きね」
Bくん「ハンマー!」
自信満々のBくんでした。

こんにちは栄養士です

栄養士 小野 栄子

高齢期からは低栄養予防

「毎日の食事の中で、気を付けていることは?」と聞かれると、多くの人は、生活習慣病予防のために「食事の量を控える」「肉や卵は控える」「油ものを控える」「野菜を中心にとっている」「なごご答えるか」と思います。しかし、こうした食生活は、高齢になるとつれて、必ずしも良い食生活とはいえません。

75歳以上になると心身機能の低下が進み、介護が必要な状態になりやすくなります。その原因の1つに低栄養(全身の栄養状態が悪いこと)にあると考えられています。

●低栄養になる原因は、年齢とともに「食事の回数や量が減る」「同じものばかり食べる」「食欲がわかない」といったことが見られる場合があります。このような状態が続いていると、「低栄養」なる危険性が高くなります。

●低栄養とはどんな状態?

エネルギーや蛋白質が不足している状態です。
・免疫力が低下して病気にかかりやすくなったり、治りにくくなります。

・筋力が低下して転びやすく、骨折しやすくなります。
・食欲の低下がみられます。

●低栄養を防ぐ食生活
魚・肉・卵(1日1個)を野菜と一緒に毎日とりまじよう。
炒め物など油を使った料理も食べるようにしまじよう。

牛乳を1日コップ1杯は飲みまじよう。
水分をこまめにとりまじよう(1日1.5リットル位)。
食事はゆっくりと、よく噛んで食べまじよう。
低栄養を心配して、食べ過ぎるといつのは要注意です。

低栄養の予防は寝たきり予防にもつながります。いろいろな食品をバランスよく食べて健康的な毎日を過ごしまじよう。

1月の行事予定

- 新入所児健康診断
11日(火) 駒ヶ嶺保育所
12日(水) 新地保育所
13日(木) 福田保育所
- 誕生会
12日(水) 新地保育所
福田保育所
13日(木) 浜保育所
駒ヶ嶺保育所
- 育児相談
20日(木) 各保育所
- 保育参観
29日(土) 各保育所

YAHHO! トム

(和訳は15ページ)



I can't believe that the year is already over. It seems just like yesterday, I was going back to America for Christmas. This year, I will not be returning to America though. I am going to Thailand for two weeks to meet some of my friends from my University. They had been working in Vietnam for a couple of months, and will do some traveling before they head back to America. So both of our schedules worked perfectly for me to meet up with them. I have never been to Thailand before. Actually, it will be my first time to travel in Asia, outside of Japan. So I am very excited. Friends have told me that in Thailand, the food is great, the scenery is beautiful and everything is relatively inexpensive. So, I am sure that I will stay very busy.

It will be my first Christmas ever to be away from home, but it is a very good opportunity for me, so I decided to take it. I will return in the beginning of January ready to begin a new year here in Shinchi. I am a little scared of winter because I remember how cold it was last year, but I love to snowboard, so I am looking forward to seeing some snow.

To everyone: Merry Christmas and a very Happy New Year. I wish all of you the best in 2005. Till next time, I will see you around town. Tom

暮らしの情報



新地町

〒979-2792 福島県相馬郡新地町谷地小屋字樋掛田30番地
TEL 0244-62-2111(代表)
FAX 0244-62-3194

E-mail info@shinchi-town.jp
http://www.shinchi-town.jp

所得税・町民税 申告のご案内

●町民税申告の案内は
個人への郵送は行いません

これまで毎年1月末に、申告が必要と思われる方へ、町から「町民税申告の案内」を郵送していましたが、今年から1月20日号の広報と一緒に全世帯へ配付することになりましたので、個人への郵送は行いません。

●申告が必要な方

個人で営業している方。収入が給与や公的年金以外に、農業や不動産収入等がある方。又は、医療費控除や生命保険料、社会保険料控除等を受ける方は、申告が必要になります。

ります。

なお、詳しくは1月20日に全世帯へ配付する「町民税申告の案内」をご確認のうえ、申告もれがないようお願いいたします。

●問い合わせ

税務課(☎2119)
2005年
●農業センサスに
協力ください

平成17年2月1日現在で、全国すべての農林業関係者を対象に「2005年農林業センサス」が実施されます。

この調査は、農林業の実態を明らかにする基本的な調査で、調査結果は、国や地方公共団体などの各面で、農政の基本施策等の基本資料として活用させていただきます。

て活用させていただきます。
1月下旬ころから調査員が伺いますので、対象となる世帯の皆さまのご協力をお願いします。

●問い合わせ

企画振興課(☎2112)
無料相談所開設
法務局では、登記や人権擁護などの各業務について、皆さまから気軽に相談いただけるよう無料相談所を開設します。電話でも相談できますのでお気軽にご利用ください。

通行規制のお知らせ

町では下記のとおり、町道駒ヶ嶺新地線の歩道整備工事をしています。
工事期間中は、片側通行等の交通規制を行いますので、皆さまのご協力をお願いします。

- ▶工事名 町道駒ヶ嶺新地線歩道整備工事
- ▶工事区間 駒ヶ嶺字紙衣沢地内(下記図)
- ▶工事終了予定 平成17年3月25日(金)

●問い合わせ 建設課(☎2114)



わくわくランドイベント情報

新地発電所わくわくランドでは、1月イベント「親子で作ろうホットドリンク・パンケーキ」を開催します。

▼日時 1月23日(日)
午前10時～午後11時30分
午後2時～3時30分

▼内容 ホットドリンクとパンケーキを親子で作ります。

▼対象 小学生と保護者(親子)の2人1組又は3人1組

▼定員 午前午後とも各15組

▼持参物 エプロン

▼申込方法 往復はがき住所・氏名・電話番号・希望の時間(午前・午後)を記入のうえ、次の宛先までお申し込みください。

〒979 2611
新地町駒ヶ嶺字今神1 1
わくわくランド。親子で作ろうホットドリンク・パンケーキ係

▼申込期限 1月12日(水)

▼参加費 無料

●問い合わせ 新地発電所わくわくランド(☎4722)

書道教室

●地域福祉基金へ
旭電化工業(株)相馬工場より20万円/故目黒フヂイさんのご遺志として目黒治光さん(小川)より10万円
●社会福祉協議会へ
故目黒フヂイさんのご遺志として目黒治光さん(小川)より10万円/故加藤スマさんのご遺志として加藤良一さん(新地町)より5万円
●寄付
加藤良一さん(新地町)より5万円、ジャガイモ25kg

荒寅雄さん(木崎)より里芋21kg/第一生命労働組合福島支社より車椅子1台/佐藤正義さん(上真弓)より毎10kg/加藤正男さん(中里)より柚子2箱/新地高校より手作り壁掛けラック80個

●慰問・ボランティア
特老ボランティア31回
人ノJAすずらん2回
レマンの会1回
ボランティア会2回
協同人部1回
学校2回
金庫職員1回
い会1回
回ノ風の会(原町市)より歌踊り17人

公民館・勤労青少年ホーム各種教室案内

1月11日(火)	フラダンス教室 (午後 1:30 新地公民館)	民謡教室 (午後 7:00 新地公民館)
12日(水)	ピースアクセサリ教室 (午前 9:30 勤労青少年ホーム)	たんぽぽひろば (午前 9:30 保健センター)
13日(木)	絵画教室 (午後 1:30 新地公民館)	手編み教室 (午後 1:30 駒ヶ嶺公民館)
15日(土)	昔語り教室 (午後 1:30 新地公民館)	鹿狼山親子ふれあい教室 (午前 10:00 新地公民館)
17日(月)	マジック教室 (午後 7:00 勤労青少年ホーム)	3B体操教室 (勤労青少年ホーム教室) (午後 1:30 新地公民館)
18日(火)	民謡教室 (午後 1:30 駒ヶ嶺公民館)	フラダンス教室 (午後 1:30 新地公民館)
19日(水)	民謡教室 (午前 9:30 勤労青少年ホーム)	茶道教室 (午後 1:30 勤労青少年ホーム)
20日(木)	フラダンス教室(自主) (午後 7:00 新地公民館)	健康レクリエーション体操教室 (午後 1:30 駒ヶ嶺公民館)
21日(金)	民謡教室(3地区合同) (午前 9:30 新地公民館)	3B体操教室 (午後 3:00 勤労青少年ホーム)
26日(水)	たんぽぽひろば (午前 9:30 保健センター)	アレンジメントフラワー教室 (午後 7:00 新地公民館)
29日(土)	陶芸教室(自主) (午前 9:30 新地公民館)	
2月2日(水)	たんぽぽひろば (午前 9:30 保健センター)	
3日(木)	手編み教室 (午後 1:30 駒ヶ嶺公民館)	
8日(火)	おやつ・デザート教室 (午前 9:30 駒ヶ嶺公民館)	フラダンス教室(自主) (午後 1:30 新地公民館)
9日(水)	民謡教室(自主) (午後 7:00 新地公民館)	民謡教室(自主) (午前 9:30 勤労青少年ホーム)
	家庭教育学級 (午後 1:30 尚英中学校)	

母と子の健康

(平成17年1月17日～平成17年2月7日)

健康診査等	対象者	日(曜)	受付時間
母子手帳交付	妊娠とわかつたなるべく早く、母子手帳の交付を受けましょう	1/21(金) 2/4(金)	午前9時～10時
3ヵ月児健診	平成16年8月22日～10月21日生まれ	1/21(金)	午後1時～1時15分
離乳食相談	平成16年5月～8月生まれ	1/18(水)	午前9時45分～10時
10ヵ月児健診	平成16年4月～5月生まれ	2/7(月)	午後1時～1時15分
3歳児健診	平成13年7月～9月生まれ	1/17(月)	午後1時～1時15分

場所は保健センター

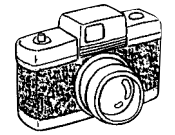
水道業者修理当番

月日	業者名	電話番号
1月15日～16日	尚サンリット工業	☎2346
	鹿島水工(株)	☎4110
	(株)ハラセツ	☎2631
22日～23日	(株)コハタ	☎4711
	山内工業(株)	☎2826
	尚佐藤水道設備	☎3492
29日～30日	(株)大場設備	☎6111
	(株)セントラル住設	☎3380
	(株)公水設備	☎2824
2月5日～6日	(株)加藤設備工業	☎3454
	尚伸栄設備	☎6500
	桜井設備工業(株)	☎4778
11日	尚斎藤設備	☎2868
	尚オオタ設備	☎2677
12日～13日	鹿島水工(株)	☎4110
	(株)ハラセツ	☎2631
	(株)コハタ	☎4711

平日の修理は指定工事業者にお申し込みください。

伝言板

☆広報にあなたの写真が載っていたら差上げます。お気軽に連絡ください。
☆「広報」には皆さんの声が届きます。カマコを向けますので「はこぼす」よろしく願います。
●企画振興課 (☎221122)



石田 渉馬くん (2歳3カ月・今神) (右)

竜海くん (4歳10カ月) (左)



いつも二人で仲良く遊んでいます。人に優しく出来る子になってほしいですね。
(コメントはお母さんの裕美さん)

母の文芸

◆野ぶどう俳句会

早朝の厨に立てば柚子香る	小泉 房子
新聞の届く音して霜の朝	小泉 淑
母なれば子を思いつつ布団干す	小野とめ代
思ふ程やれぬことあり年の暮	齊藤とも子
しぐるるや欠伸小さく手に包む	野地せい子
深ふかと葱に土寄せ冬に入る	佐藤 芳子
林道の一人に秋の影こぼる	齊藤 清子
荒城の落葉を挙げて乗とす	加藤 白穂
枝の端の寒月を掌に乗せてみる	佐藤のぶお
小春日や大根の白際立てり	石田 渭城
静かなり聖夜の星は空に満つ	水戸千佳子
嶺風の小雨ばらつく聖樹かな	代光 富峰

交通安全功労者表彰

新地町交通安全表彰伝達式並びに表彰式が12月7日、役場会議室で行われ関係者約35名が出席しました。受賞者は次のとおりです。

▼受賞者(敬称略)
◆全日本交通安全協会会長表彰「交通安全章緑十字銅章」優良運転者後藤顯一 ◆福島県交通安全協議会長表彰(交通安全活動協力者)佐藤功 ◆新地町長・新地町交通安全協議会長連名表彰(交通安全功労者)三宅行、鈴木毅、今野金一(交通安全功労団体尚英中学校交通安全母の会) ◆相馬警察署長・相馬地区交通安全協会会長連名表彰(優良運転者)菅原紀美子、菅野淑子、早川政隆、水戸明男、水戸良子、星須美子、伊藤節雄、目黒茂和、遠藤秋男、鶴田芳行、荒さつ子、菅野敏、石田信夫、佐久間正信、鈴木武彦、佐藤アサヨ、横山昭雄、三宅信幸 ◆相馬警察署長・相馬地区安全運転管理者協会会長連名表彰(無事故優良事業所) (株)エスビーエス (株)小賀坂組、相馬秩父生コン(株)新地工場



▶受賞者を代表して謝辞を述べる後藤顯一さん

全日本少年柔道育成大会出場

加藤くん、竹澤くんが入賞報告

11月28日にいわき市で開催された、「第1回全日本少年柔道育成大会」に出場した、町柔道スポーツ少年団所属の加藤広大くん(新地小2年、杉目)と竹澤雄基くん(新地小2年、大戸浜)が12月7日、町へ入賞報告に訪れました。加藤くんは、小学生中量級で見事優勝。竹澤くんは重量級で3位というすばらしい成績でした。
二人の将来の夢は「柔道でオリンピックに出ること、世界チャンピオンになること」です。



▲ 竹澤雄基くん(左)と加藤広大くん(右)

各種スポーツ大会出場者へ 激励金交付

町では、各種スポーツ大会出場者の選手やチームに激励金を贈りました。(敬称略)
第10回全日本フットサル選手権東北大会
荒 祐和(会社員、岡)
JOCジュニアオリンピック杯第18回全国都道府県対抗中学バレーボール大会
森 一史(尚英中3年、大戸浜)
後藤友宏(尚英中3年、富倉)
第27回コカコーラ杯福島県少年サッカー新人大会
新地町サッカー部スポーツ少年団



▲ 前列スポーツ少年団、後列左から荒さん、後藤さん、加藤町長、森さん

YAHHO! トム



(和訳編) もう1年が過ぎ去るなんて信じられませんが、まるで昨日のように感じます。私はこれまでクリスマスはアメリカに帰っていました。しかし今年は帰りません。今年はアメリカのときの友達に会いにタイに2週間ほど行くのです。彼らは2ヵ月間ベトナムで働いています。そしてアメリカに帰る前に2、3ヵ所旅に行くのです。だから、彼らは私たちのスケジュールに合わせて現地で落ち合うのです。私は一度もタイに行ったことがありません。と言うか、日本以外のアジアに行ったことがないのです。とても楽しみにしています。食べ物はいいし、景色は美しいし、そして物価が安いと友達は言っていました。私の滞在期間中はとても忙しいでしょうね。
実家から離れてのクリスマスは初めてですが、私にとってはいい機会です。だから、私は決めました。私がここ新地に帰ってくるのは年が明けての1月の初めぐらいになります。今年の冬は少しビックリですね、だって去年は寒かったのに。しかし、私はスノーボードが好きなので、雪が降るのを楽しみに待っています。
新地のみなさんへ：メリー・クリスマスそして明けましておめでとう。2005年が素晴らしい年になりますように。次の機会まで、町のどこかで会いましょう。
和訳：尚英中学校 古橋秀輝先生

～カルシウムたっぷりメニュー～

わが家の自慢料理 ③⑥

『里芋のさつま揚げ風』 武澤恵子さん(釣師)

- 1人分の栄養量
 - ・エネルギー 128キロカロリー
 - ・カルシウム 309mg
- 材料(4人分)
 - ・里芋 4個
 - ・人参 3cm
 - ・万能ネギ 3本
 - ・桜エビ 60g
 - ・卵白 1個分
 - ・片栗粉 大さじ1
 - ・塩 ひとつまみ
 - ・揚げ油 適量
- 作り方

里芋は皮付きのままゆでる(レンジにかけても良い) 人参はせん切りし、万能ネギは2～3cmの幅に切る。里芋のあら熱が取れたら皮をむき、フォークなどで粗くつぶし、塩を加え混ぜる。
に と桜エビ、卵白、片栗粉を加えよく混ぜる。スプーンですくいながら、油できつね色になるまで揚げる。



●出品者からのコメント
小女子、ゴボウ、枝豆などを入れても良いと思います。



年末年始事件事故防止出動式

年末年始における交通事故防止県民総ぐるみ運動と街頭犯罪等の抑止活動出動式が12月10日、役場前駐車場で行われ、関係者約150人が参加しました。

出動式では、町長、相馬警察署長のあいさつの後、町老人クラブ連合会の横尾富男会長が、地域の安全に対する誓いの言葉を述べました。

式の後には、白バイ3台、広報車両等9台が町内をパレード、事件事故防止を呼びかけました。



▶ 誓いの言葉を述べる横尾会長と会員の皆さん



人の動き

(住民基本台帳調べ)

12月1日現在()は前月比
●人口/8,884人 (-7人)
男/4,331人 (-3人)
女/4,553人 (-4人)
●世帯数/2,545世帯 (-1世帯)

今月の納税

●町県民税 第4期分
●国民健康保険税 第7期分

こちら編集室

新年あけましておめでとうございます。昨年は「広報しんち」取材の際には、多くの皆さんにご協力をいただきました。ありがとうございました。机の上での作業が多い仕事ですが、出来るだけ多く取材に出かけ、1人でも多く町民の皆さんとお会いしたいと思います。今年も、よろしくお願ひいたします。

(寺)健

消 息

(平成16年11月21日~平成16年12月20日届出)

お誕生おめでとう

(子供)	(親)	(地区)
那也	小野 勝・育 子	小 川
奈菜	今野保彦・晴 美	今 泉
梨里花	千田勇司・真 美	中 里
あゆみ	林 義美・まゆみ	岡
大 雅	市川圭介・智嘉子	藤 崎

ご冥福をお祈りします

(死亡者)	(年齢)	(地区)
加藤 スマ	97歳	新地町
目黒フチイ	82歳	小 川
加藤 三夫	89歳	杉 目

この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに申し出てください。

